

ともいきゆうえんちプラス in 相模原

“誰もが遊べるインクルーシブ移動遊園地”



報告書



令和8年4月

神奈川県 福祉子どもみらい局 共生推進本部室

1 趣旨

平成28年津久井やまゆり園事件発生後、県では「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定し、理念の普及を進めてきた。しかし、障がいのある人に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思うと回答した方の割合は 88.5% である。

(令和4年度内閣府「障害者に関する世論調査」)

そこで令和6年度より
インクルーシブなイベントを県内各地で実施している。

狙い 誰もが気軽に参加できる共生の場
(インクルーシブな場) を創出する。



- ⇒ ・障がい児・者が充実した余暇を過ごし、生活を豊かにする。
・若者や子どもを中心に障がいに対する理解促進につなげる。

「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念の実現へ

2 開催概要

1 日時 令和8年3月22日（日曜日）10時から16時まで

2 場所 県立相模原公園・相模原ギオンアリーナ

3 実施主体

共催：神奈川県

（公財）神奈川県公園協会

（公財）相模原市まち・みどり公社

（総合体育館グループ協働運営事業体）

4 協力団体

（公社）SSP（サイドスタンドプロジェクト）、（特非）laule'a（ラウレア）、

（特非）湘南バリアフリーツアーセンター、フェースofワンダー、クラスター

（株）、（株）ゆずプラス、地域福祉ボランティア横地ゼミ、（株）ePARA、

相模原南警察署、（公社）相模原市観光協会、相模原市障害者地域作業所等連絡協議会、（株）ディー・エヌ・エー、他

5 来場者数 **約3,000人**

3 実施内容（会場マップより）

ともいきゆうえんち in 相模原 会場マップ

相模原のごちそうブース

- G-1 ぶどう亭（相模原産フルーツときなこのわたあめ）
- G-2 252ソーセージ（相模原チキンを使用した串料理・カレー・自家製ソーセージなど）
- G-3 井上醤油（自家製しょうゆ・だし各種）
- G-4 プラントタン（津久井の食材を使った手作りパン）
- G-5 ミノリコーヒー（ハンドドリップコーヒー他）
- G-6 豊国屋（津久井在来大豆商品各種）
- G-7 オールイン（相模原の地卵付き！焼きそば）
- G-8 フェリーチェ（相模原産の素材にこだわった自家製焼き菓子）
- G-9 燗餐（さんさん）（自家製韓国料理）
- G-10 相模原市観光協会

県立相模原公園

公園ナビステーション

サカタのタネ
グリーンハウス

相模原ギオンアリーナ
（総合体育館）

あそびブース

案内ブース

おみやげ屋さんブース

- O-1 ハンドメイドショップバオバブ（焼き菓子・小物）
- O-2 神奈川ワークショップ（焼き菓子・野菜）
- O-3 アトリエあんだんて（しいたけ）
- O-4 合同店舗（ジャム、乾燥野菜、卵、しいたけ）
（やまびこ工房 / ふじのタンポポ / 虹の家 / くりのみ学園）

ユニバーサルシート（着替えスペース）

相模原女子大学 学園キャラクター さがっば・ジョー

相模原女子大学 学園キャラクター さがっば・ジョー

飲食スペース（机・椅子あり）

ユニバーサルシート（着替えスペース）

売店

公園管理事務所

中央駐車場

西駐車場

ギオンアリーナ駐車場

おみやげ屋さんブース

- O-1 ハンドメイドショップバオバブ（焼き菓子・小物）
- O-2 神奈川ワークショップ（焼き菓子・野菜）
- O-3 アトリエあんだんて（しいたけ）
- O-4 合同店舗（ジャム、乾燥野菜、卵、しいたけ）
（やまびこ工房 / ふじのタンポポ / 虹の家 / くりのみ学園）

おそびブース

- A-1 インクルーシブバイク
- A-2 インクルーシブ遊具
- A-3 エアートランポリン
- A-4 エコクラフト製作
- A-5 フォトスポット（相模原公園）
- A-6 けいさつブース
- A-7 いろいろ車いす
- A-8 インクルーシブ自転車
- A-9 eスポーツ
- A-10 VR体験
- A-11 アート展示・体験

案内ブース

- K-1 案内・アンケート①
- K-2 総合案内（公園ナビステーション内）
- K-3 案内・アンケート②

あそびブース

- A-12 かながわバラスポーツコーナー
- A-13 フォトブース（ギオンアリーナ）

2会場間 シャトルバス
（ノンステップバス）

30分間隔で、2会場間シャトルバスを運行予定です
★シャトルバス発着所 ——— 運行ルート

相模原女子大学 学園キャラクター さがっば・ジョー

神奈川県公式PRキャラクター かながわキンタロウ

施設案内

- AED
- トイレ
- 車椅子用トイレ
- 授乳室・ベビーベッド

3 実施内容（出展ブースなど）

【当日の様子】



インクルーシブなバイク



インクルーシブ遊具



エアートランポリン



エコクラフト製作



フォトスポット



けいさつブース

3 実施内容（出展ブースなど）

【当日の様子】



いろいろ車いす



インクルーシブ自転車



eスポーツ



VR体験



アート展示・体験



かながわパラスポーツコーナー

3 実施内容（出展ブースなど）

【当日の様子】



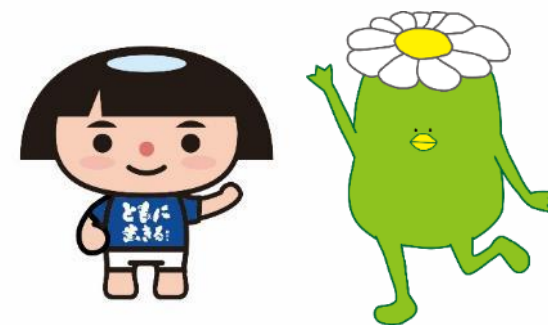
相模原のごちそうブース



おみやげ屋さんブース



会場間シャトルバス



3 実施内容（その他）

【ともいきグッズのプレゼント】

- ・アンケート協力者にホイッスル、ペン、ウェットティッシュ、風船を配付

【フォトラリープログラム】

- ・相模原公園、ギオンアリーナの両会場で写真を撮った方へSC相模原グッズをプレゼント

① アンケートに答えてともいきグッズを手に入れよう！

アンケートブース(会場マップ内 K-1, K-3, K-6)で、アンケートにご回答いただいた方にともいきグッズをプレゼントします。「回答が送信されました」と表示される画面を、スタッフにお見せください。 ※無くなり次第、終了

ともいきゆうえんちプラス in 相模原 アンケート

SC相模原マスコット「ガミニタイ」

② フォトラリーへの参加でSC相模原グッズを手に入れよう！

相模原公園・ギオンアリーナに設置されたフォトスポットで写真を撮ると、スタンプを押してもらえます。スタンプを2つ集めて、SC相模原グッズを手に入れよう！ ※先着300名様に各フォトスポットでお渡しします。

©S.C.SAGAMIHARA

相模原公園 ギオンアリーナ

©S.C.SAGAMIHARA

【配慮事項】

- ・会場間シャトルバス運行（乗車実績130名）
- ・各会場に着替えスペースを設置
オムツ交換、着替えなどに使用
- ・ブースの混雑緩和のため整理券の配付



会場間シャトルバス

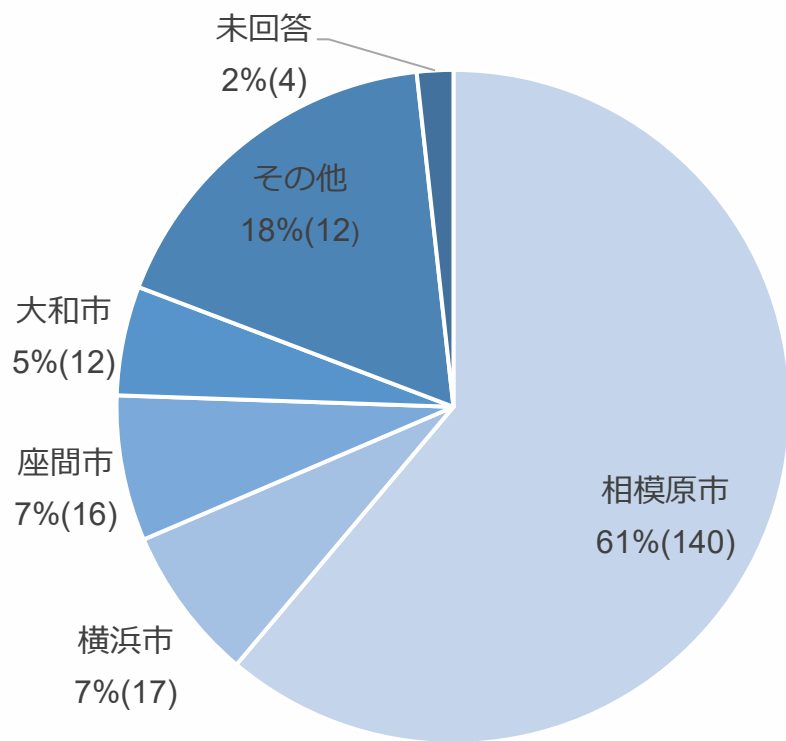
4 参加者アンケート結果

n = 229人

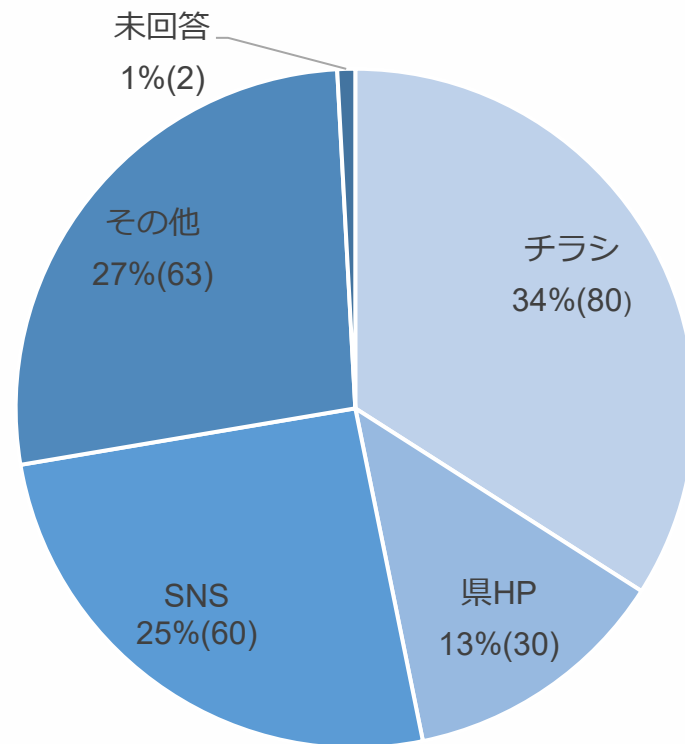
() は回答数

※複数回答や未回答があるため、nにならない場合あり

Q1どこに住んでいますか？



Q2 どうやって知りましたか？



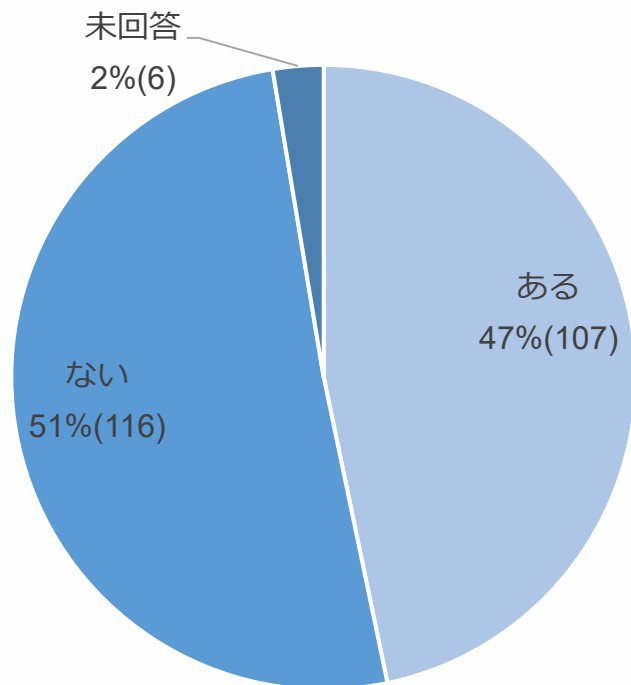
4 参加者アンケート結果

n = 229人

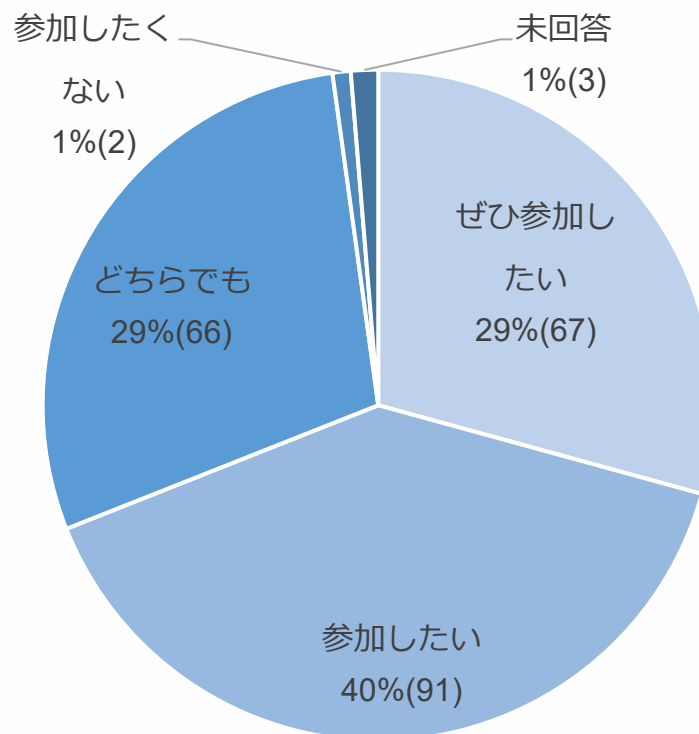
() は回答数

※複数回答や未回答があるため、nにならない場合あり

Q3 ともに生きる社会かながわ憲章について見たこと・聞いたことはありますか？



Q4 共生社会（ともに生きる）をテーマにしたイベントがあれば参加したいですか？



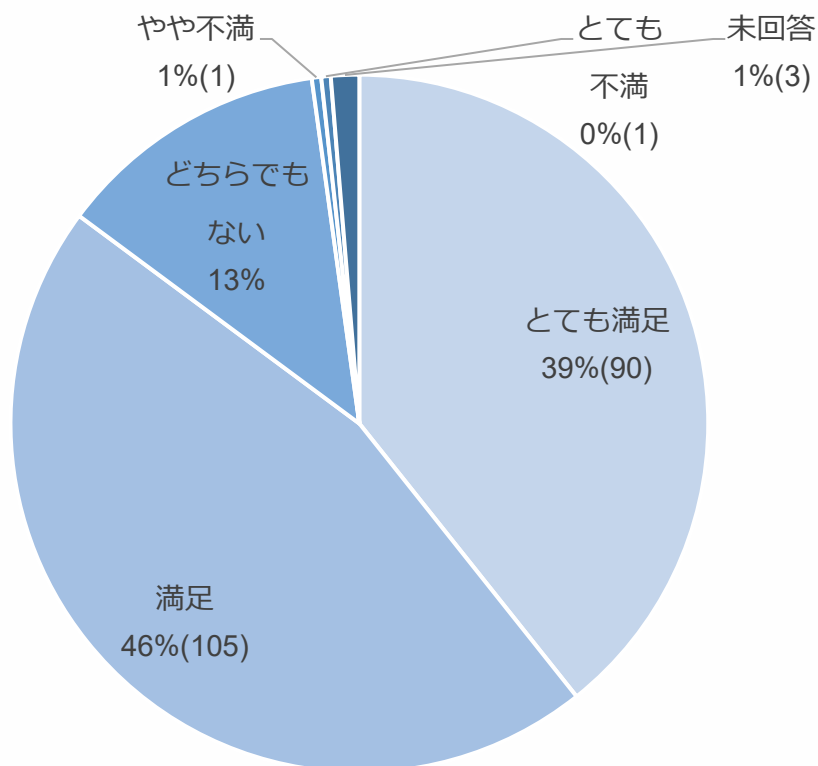
4 参加者アンケート結果

n = 229人

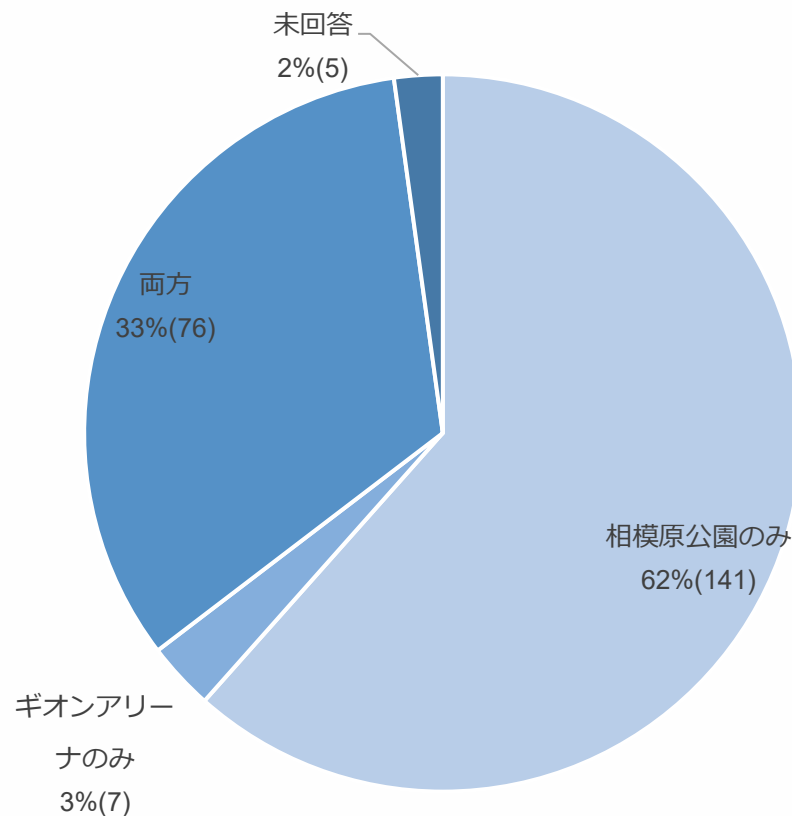
() は回答数

※複数回答や未回答があるため、nにならない場合あり

Q5 イベント全体の満足度を教えてください。



Q6 足を運ばれた会場を教えてください。



5 来場者の方のご感想から

<よかった点>

- どのブースの方も親切で、感激しました。
普段、一人で子どもを見ているのですが、ここでは少し肩の力を抜いていいんだと気持ちが悪くなりました。
- 読み聞かせ、あんばんまん体操、ピザ作り全部楽しんでました。
- これからも、県内の様々な地域でイベントを開催いただけたら嬉しいです。
- 子どもが、順番待ちできない、他の子とトラブルを起こすかもしれないと心配だったのですが、配慮いただき、家族だけで入らせてもらいました。
- 去年は雨でしたが、今年は天気に恵まれて良かったです。
- 一週間くらい、遊具を置いて欲しい。
- シャトルバスがありがたかったです。

5 来場者の方のご感想から

<改善点>

- 場所がわかりづらく、ブースがまとまってないのでまわりづらい。
高齢者や子どもにはきつい。
- 公園からギオンアリーナに来たが、場所がやや離れていて、わかりづらかった。
⇒会場が広かったためか、同様の意見が複数ありました。
次回の開催時に参考にさせていただきます。
- チラシの場所説明がよくわからず、迷った。
⇒チラシ・会場案内が見やすくなるよう改善を試みます。
- エコクラフトがやりたかったのですが、終了していて残念でした。
⇒同様の催しをする際は、なるべく多くの方が体験できるよう出展者と調整いたします。

6 共催者・協力団体コメント

【公益財団法人神奈川県公園協会 県立相模原公園 副園長 伊藤様】

会場に足を運んでいただいた方々が、障がいの有無関係なく笑顔で楽しく遊んでいる姿を見て、「ともいきゆうえんち」という素晴らしい企画に共催として参加でき本当に良かったと実感した反面、配慮が足らなかった部分に気づかせていただくよい機会となりました。

今回、得た経験を今後の管理運営に活かし、より良い公園になるよう努めてまいります。

【公益財団法人相模原市まち・みどり公社（総合体育館グループ協働運営事業体） 相模原ギオンアリーナ館長 白井様】

近隣の県立相模原公園と合同で開催していただいたため、普段は体育館を利用することがない方にも、体育館について知っていただく機会になったとともに、施設の新たな活用方法ができたと考えております。

貴重な機会をありがとうございました。

6 共催者・協力団体コメント

【公益社団法人SSP 代表理事 青木様】

天候にも恵まれ、157名の方にオートバイを体験していただきました。「できない」を「できる」に変える瞬間が生まれ、笑顔と挑戦が広がる時間となりました。ご来場・ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後も活動の拡大に努めてまいります。

【特定非営利活動法人laule'a 副理事長 大郷様】

トランポリン等の運営を通じ、特性により「待つ」ことが難しいお子様と多数接しました。ルール通りではなく、目の前のお子様に合わせて柔軟な配慮とは何かを現場で深く考えさせられる貴重な機会となりました。

この気づきを糧に、真にインクルーシブな遊び場づくりを今後も追求していきたいです。

6 共催者・協力団体コメント

【特定非営利活動法人湘南バリアフリーツアーセンター

理事長 榊原様】

当団体は電動車いすWHILL、NOAAのJOYカート、キャタピラ車いすのスカウトクローラー、チェアスキーの体験会を行いました。

参加者は当事者だけでなく若い家族が多く、当事者や子どもたちだけでなく、大人の方にもたくさん体験していただき、障がい者の余暇活動と様々な車いすが世の中にあることを知る機会となったと実感します。

【フェースofワンダー 代表 金子様】

多くの方がダンボール片で作ったアートピザに様々な材料でトッピング。世界にたった一つのピザが生まれました。

親子で作ったり、その場で出会った人とおしゃべりをしながら作ったりと、自然な笑顔と会話がすてきなアート時間でした。

「また、やりたい！」という言葉がたくさんの子どもたちから聞かれました。

障がいの壁や世代や国籍をこえて、笑顔で人と人をつなぐアートの力を改めて実感した「ともゆきゆうえんちプラス」でした。

6 共催者・協力団体コメント

【株式会社ゆずプラス 山下様】

VR体験に参加されたご家族、お子様たちからとても楽しそうなお反応をいただき、特に車椅子の方にもVRの美しい景色をご鑑賞いただき、VR（メタバース）での福祉支援を得意とする弊社として冥利に尽きます。

また機会が御座いましたら、再び参加させていただきたいです。

【地域福祉ボランティア横地ゼミ（相模女子大学・和泉短期大学）横地様】

ともに生きる社会に向けて、大学生自身ができることを考え、皆さまが楽しみ交流できるよう、さがっば等のフォトラリー、障害者施設と連携したエコクラフト、手遊び・読み聞かせを学生30名で実施しました。

準備の苦労も色々ありましたが、皆さまの笑顔を拝見し、学生一同やって良かったと心から感じております。

至らぬ点もあったかと思いますが、この度はすてきな機会をありがとうございました。

6 共催者・協力団体コメント

【株式会社ePARA 加藤様】

今回は、小さなお子様の参加がとても多い一日になりました。

ゲームを通じて充実したひと時を過ごしてくれた参加者が多く、屈託のない笑顔をたくさん見ることができました。

障害の有無を超えたゲームの共通体験は、若い時期に共生社会に向けた心を育む教育的アプローチとして有益だと再認識しました。

【相模原南警察署 酒井様】

最高の晴天に恵まれ、私たちの予想をはるかに超える多くの来場者の皆様に、パトカー、白バイ、子ども用制服でふれあっていただくことができました。

正直、これほど多くの来場者を予想しておらず、当日のスタッフは大忙しで「うれしい悲鳴」をあげる状況となり、本イベントは大盛況で大成功だったと思います。

6 共催者・協力団体コメント

【相模原市障害者地域作業所等連絡協会・バオバブ】

昨年は雨天で中止となり残念でしたが、今年は天候もよく多くの方に来ていただきました。障害福祉サービス事業所の自主製品を販売しましたが、お客様に手に取っていただき「かわいい」と喜んでもらえました。

当日は利用者の方々も販売のお手伝いをしましたが、皆様に障害者の活動を知ってもらう機会となり、利用者は直接お客様の声を聞き交流の場となったことがとてもよかったです。これからも多くの方に自主製品を知ってもらい利用者へとつなげる活動ができればと思います。

【株式会社ディー・エヌ・エー 田中様】

神奈川県との協定に基づき、この度DeNAとして初めて参加させていただきました。

関心があって来場された方、会場に偶然いらっしゃって参加された方と様々でしたが好天に恵まれた中、何かに強制されるようなことはなく、皆さんが思い思いに楽しまれていたのが印象的でした。

今回はスケジュールの関係で限定的なご協力となりましたが、次回以降何ができるかを考える大変良い機会となりました。

7 ともいき寄附の活用

県では「ともに生きる社会かながわ」の実現に向けた寄附（通称「ともいき寄附」）を募集しています。
※ふるさと納税の使い道として、本イベントへの使用を指定することができます。

今回のイベント実施についても、頂いたご寄附を活用させていただきました。
ご協力くださった皆さま、ありがとうございました。

引き続き、寄附を募集しております。
皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

神奈川県ホームページ「ともいき寄附はじめませんか」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/tomoikihukin.html>

神奈川県
ともいき寄附
ともに生きる: はじめませんか

神奈川県では、「ともに生きる社会かながわ」の実現に向けて、共生社会(ともいき)を楽しく体験できるさまざまな取組みを実施するための寄附を受け付けています。皆さまの温かい応援をよろしくお願いいたします。

寄附の活用先はコチラ

「インクルーシブ移動遊園地」でみんな一緒に遊ぶ！
障がいの程度に関わらず、お子さんたちが一緒に遊べる遊具、ゴーカートやエア遊具等)を活用して、子どもたちの遊びの機会を提供する民間団体(NPO法人ラウレア)のご協力のもと、県立公園等で移動遊園地を実施します。

障害があっても運転できる「バイク」にチャレンジ！
車椅子、義足などを使用している方でも運転できる特別なおトバイを使って、運転にチャレンジできる機会を提供する民間団体(一般社団法人SSP(サイドスタンドプロジェクト)のご協力のもと、活動紹介やミニ体験会を実施します。

みんなで「ともいきアート」を作っちゃおう！
ともいきアート(障がい者アート)団体の協力のもと、障がいの程度に関わらず、誰もが一緒にアート作品などの創作活動を楽しんで行う、ともいきアートのワークショップを実施します。

寄附の方法

①県ホームページ(寄附の手続き)からの寄附
県ホームページから、「ふるさとチョイス」「さとふる」「楽天ふるさと納税」の各種ポータルサイトを通じて、お申し込みができます。
※ふるさと納税制度を利用するため、県内(県内にお住まいの方)宛に送付することはありません。
(神奈川県外にお住まいの方は各サイトから郵送品を選択することができます。)

②納付書による寄附
共生推進本部までお電話、または県のホームページよりお問い合せフォームでご連絡いただき、宛先等に納付書を送ります。

【問合せ先】 神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部 ☎ 045-210-4961



8 今後の展開について

次回の実施場所については調整中です。
詳細については、県ホームページでお知らせします。

